

<報道発表資料>  
(経済同時)

令和8年6月11日  
京都市産業観光局スタートアップ・産学連携推進室

## 「HVC KYOTO 2026 DemoDay」登壇ファイナリスト 12社が決定！ ～一般参加者の募集中～

京都市では、独立行政法人日本貿易振興機構（JETRO）、京都府、京都リサーチパーク株式会社等と連携し、世界を舞台にヘルスケア分野で活躍するスタートアップを輩出するため、イノベーションプラットフォーム「HVC KYOTO」を推進しています。この度、本プラットフォームの集大成として開催する全編英語のピッチ※1イベント「HVC KYOTO 2026 Demo Day」に登壇する、厳選されたファイナリスト 12社が決定いたしました。

2日目にはファイナリストによるピッチが開催されるほか、松井京都市長による“京都市長賞”の授与も行われます。開催するファイナリストピッチは、事前申込により、一般の方にも現地参加が可能です。ヘルスケア分野での起業を目指す方や、スタートアップとの協業に関心のある方は、お席に限りがございますので、ぜひお早めにお申込みください。（先着順）

※1 ピッチ：短い時間・簡潔な言葉で相手に提案を伝えること



【概要】

● 日 時

令和 8 年 7 月 13 日(月) Demo Day Day1 (個別商談会・レセプションパーティー)

令和 8 年 7 月 14 日(火) Demo Day Day2 (ファイナリストピッチ・基調講演)

※一般参加可

● 場 所

京都市サーチパーク 4 号館 地下 1 階「バズホール」他

(〒600-8815 京都市下京区粟田町 93)

● 内 容

- ・ファイナリストによるピッチ
- ・国内外の有識者による基調講演
- ・ネットワーキング
- ・個別商談会 (採択スタートアップとパートナーのみ)
- ・市長賞の授与

● 対 象

ヘルスケア分野のイノベーション・起業・産学公連携に関心のある方

(起業家、研究者、製薬企業、医療機器メーカー、ベンチャーキャピタル、金融機関、行政、学生など)

● 参加申込 下記 WEB サイトからお申込みください。

<https://hvckyoto2026.peatix.com>

※ 当日御取材いただけるメディア関係者の方は末尾記載の事務局まで御連絡ください。

※ 現地参加が難しい場合でも、上記より御登録いただきますと、後日アーカイブ配信 URL を御案内いたします。

● 言 語 英語 (同時通訳あり)

【登壇研究者及びスタートアップ】

厳正な審査を経て、Demo Day に登壇するファイナリスト 12 者が決定しました。さらに当日はイギリスから Biotech※1 社、MedTech※3 社、計 4 社のスタートアップも登壇予定です。

< Biotech 部門 >

Finalists in the Biotech Category

 <p>AIM Precision Therapeutics 青山 慧 共同創業者 &amp; 最高科学責任者</p> <p>進化型CAR-T細胞療法による再発・難治性固形がん治療</p>	 <p>株式会社ディセリンクバイオ 山岡 哲二 CEO</p> <p>世界初の脱細胞超小口径人工血管の社会実装と糖尿病下肢切断の回避</p>	 <p>同志社大学 北岸 宏亮 教授</p> <p>世界初の一酸化炭素中毒解毒薬の開発</p>
 <p>関西医科大学 田宮 寛之 テニュアトラック助教</p> <p>新規オルガノイドプラットフォームを用いた体内時計シフト型睡眠薬の開発</p>	 <p>熊本大学 有田 健一 URA</p> <p>ナノロボットが実現するミサイルターゲティング創薬</p>	 <p>PurinoScience(東京大学) 久本 浩太郎 Founder &amp; CEO</p> <p>東京大学岡本研発、ATP代謝補正による急性サルコペニア治療薬の開発</p>
 <p>東北大学病院 鎌野 優弥 講師</p> <p>顎骨由来骨格幹細胞 (JASC) を用いた世界初の革新的骨再生医療プラットフォーム</p>		

< Medtech 部門 >

Finalists in the MedTech Category

 <p>株式会社HICKY 林 健太郎 CEO</p> <p>心不全の予後改善を目指すリードレス型横隔神経刺激装置</p>	 <p>京都大学 河野 文子 特定講師</p> <p>MenoSense(メノ・センス)更年期ホルモン可視化プロジェクト</p>	 <p>CA Technology, Inc.(九州大学) 佐野 亨 CEO &amp; Co-Founder</p> <p>次世代骨軟骨再建による膝機能の回復</p>
 <p>SPHinX株式会社 佐々木 信 COO</p> <p>革新的診断技術で救えるいのちを救う！簡易診断キット「Smart ∞™」</p>	 <p>株式会社TOMOCLLOUD 木内 悠太 Co-Founder</p> <p>新しいリンパ浮腫ケアのための非侵襲的トモグラフィ</p>	

ファイナリストを含む、全採択者 20 者は以下のプレスリリースよりご確認ください。

→ <https://www.krp.co.jp/hvckyoto/detail/5467.html>

【イギリスからの登壇スタートアップ】

< Biotech 部門 >

- ・ Argonaute RNA Ltd.

A new siRNA drug to help high-risk patients achieve their LDL-C targets. Targeting 2 genes in a single drug.

< Medtech 部門 >

- ・ Imphi Health

revolutionising fertility hormone monitoring

- ・ Neubond Ltd.

Revolutionising stroke rehabilitation through autonomous daily Therapy

- ・ Amilis

The Clinical Data Infrastructure for Reproductive Medicine

※ 「Biotech 部門」は主に創薬・バイオ・再生医療などの事業が対象。

「Medtech 部門」は主にデジタルヘルス・医療機器などの事業が対象。

※ 基調講演や登壇者の詳細、タイムスケジュールは、「参加申込」記載の WEB サイト上で随時更新します。

● 運 営

主 催：京都市、独立行政法人日本貿易振興機構（JETRO）、京都府、京都リサーチパーク株式会社

共 催：関西イノベーションイニシアティブ（KSII）、京都大学成長戦略本部、京都大学イノベーションキャピタル株式会社

パートナー<sup>※2</sup>：2026年5月末時点

アッヴィ合同会社、株式会社国際電気通信基礎技術研究所、朝日インテック株式会社、アステラス製薬株式会社、アストラゼネカ株式会社、バイエル薬品株式会社、キャノンメディカルシステムズ株式会社、中外製薬株式会社、第一三共株式会社、エーザイ株式会社、Johnson & Johnson、マルホ株式会社、MSD 株式会社、日本ベクトン・ディッキンソン株式会社、日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社、ロート製薬株式会社、シーメンスヘルスケア株式会社、武田薬品工業株式会社、株式会社 WuXi AppTec Japan DCI パートナーズ株式会社、株式会社 DG Daiwa Ventures、グローバル・ブレイン株式会社、株式会社アイティーファーム、JIC ベンチャー・グロース・インベストメンツ株式会社、株式会社慶應イノベーション・イニシアティブ、株式会社ケイエスピー、京都大学イノベーションキャピタル株式会社、

株式会社ロッセホールディングス、三菱 UFJ キャピタル株式会社、三井化学株式会社、みやこキャピタル株式会社、大阪大学ベンチャーキャピタル株式会社、QB キャピタル合同会社、Red Capital 株式会社、Remiges Ventures,Inc.、SBI インベストメント株式会社、株式会社島津製作所、塩野義製薬株式会社、大鵬イノベーションズ合同会社、株式会社東京大学エッジキャピタルパートナーズ

CIC Japan Innovation Services 合同会社、アイパークインスティテュート株式会社、公益財団法人川崎市産業振興財団、一般社団法人 LINK-J、Plug and Play Japan 株式会社、TMI 総合法律事務所、東急不動産株式会社

※ パートナーは、DemoDay・個別商談・その後のコミュニティ活動を通じて、スタートアップとの事業提携や共同研究を図る事業会社や VC・支援機関等（パートナーシップのクラスにより制限あり）。

## ● 参 考

< 昨年 の ピッチ の 様子 >

KRP 公式 youtube 「HVC KYOTO 2025 ダイジェスト」

<https://youtu.be/pWvrJsvjrAs?si=hRfDI5DJhKHqw6hX>



< HVC KYOTO について >

HVC KYOTO (Healthcare Venture Conference KYOTO) は、海外展開を目指すヘルスケア領域のスタートアップ、起業志向の高い研究者、オープンイノベーションに積極的に取り組む事業会社、投資家・インキュベーター等の支援機関が共に連携し、事業の前進を目指すための“コミュニティ (イノベーションプラットフォーム)” (平成 28 年から実施) です。過去 10 回の採択スタートアップ等は 194 件にのぼり、令和 8 年 1 月時点での累積資金調達額は約 830 億円。登壇者は国内外企業との事業提携や、AMED などの国のプロジェクト

採択のほか、J-startupにも選定されています。令和5年3月には、特許庁が運営する「IP BASE AWARD」において、エコシステム部門「奨励賞」を受賞し、同年9月にはサイエンスパークの国際機関であるIASPが運営する賞プログラム「Inspiring Solutions Programme 2023」において第3位を受賞。令和7年2月には、内閣府主催の第7回日本オープンイノベーション大賞にて、「経済産業大臣賞」を受賞しました。

<京都市長賞について>

本イベントで優れたピッチを行った登壇者に対して、主催企業、パートナー企業等が複数の企業賞を設けています。主催者である本市からは「京都市長賞」と題し、本市が実施している補助事業「京都発革新的医療技術研究開発助成事業」の特別枠として、300万円（補助率100%）の研究補助金を交付します。



<お問合せ先>

京都リサーチパーク株式会社 イノベーションデザイン部 長田

e-mail : [hvckyoto@krp.co.jp](mailto:hvckyoto@krp.co.jp)

ジェトロ 京都貿易情報センター 佐竹

e-mail : [KYO@jetro.go.jp](mailto:KYO@jetro.go.jp)

京都市産業観光局スタートアップ・産学連携推進室 産学連携担当

e-mail : [sanshin@city.kyoto.lg.jp](mailto:sanshin@city.kyoto.lg.jp)